

工事成績評定運用表の取り扱いについて

(趣旨)

工事成績評定を公平かつ客観的に行うよう努めるため、工事成績評定運用表の取り扱いを定める。

(適用)

1. 運用表は請負金額が10,000,000円未満の工事に適用する。

(評定の方法)

1. 工事成績評定書の考査項目ごとの細目評価点は、業種別（土木工事）、（建築工事等）に定めた工事成績評定運用表（別表第4）により求めたもの（以下「細目評価点」という。）を用いる。
2. 細目評価点は考査項目ごとに工事成績評定運用表（別表第4）に該当する細目評価点欄の点数（40点以上90点以下）とする。
ただし、考査項目ごとに工事成績評定運用表（別表第5）および（別表第6）に該当する加減点事項があった場合は、同表を作成し工事成績評定書（様式第2号）に加減点加算する。
3. 工事成績評定細目評価点50点Cとした項目について説明書（別表第5）を作成し提出する。
4. 一括発注した複合工事の評定については、主たる工事について監督職員および検査職員が協議し、運用表により評定するものとする。

(運用表の提出)

運用表は、工事成績評定書と合わせて提出する。

様式第1号 (第4条関係)

工事担当課	課長	課長補佐	上席主査	検査担当課	課長

工 事 成 績 評 定 書						契約番号()	
工 事 名						工事担当課	
業 種	土木・建築・電気・機械		現場代理人 氏名		監督職員		
請 負 者			主任・監理技術者 氏名				
請 負 金 額	当初	金 円		最終	金 円		検査職員
工 期	自 平成 年 月 日	至 平成 年 月 日		至 平成 年 月 日		契約書第42条	
			遅延日数		遅延損害金		
完 成 年 月 日	平成 年 月 日		遅延理由		評 定 結 果		
完 成 検 査 年 月 日	平成 年 月 日		再 検 査 日 平成 年 月 日		評定合計		評定判定
							(1)～(4)の合計 小数点以下1位 4捨5入
考 査 項 目 細 目	重 要 度 (%)	評 定 区 分				評 点	
		監督職員		検査職員			
		重要度×細目 評価点() =項目評価点	項目評価点計	重要度×細目 評価点() =項目評価点	項目評価点計		
1 完成 の 状 況	①出来形	30	()=	()=	b×0.8=B	A×0.5+B× 0.5=	
	②出来ばえ	20	()=	()=			
	③品質	50	()=	()=			
	計	100	a	A	b		B
2 施 工 体 制	①施工体制一般	40	()=	a × 0.3 = A	/	A×0.5=	
	②配置技術者	60	()=				
	計	100	a				A
3 施 工 状 況	①施工管理	25	()=	a × 0.3 = A	()=	b×0.8=B	A×0.5+B× 0.5=
	②工程管理	25	()=				
	③安全管理	25	()=				
	④対外関係	25	()=				
	計	100	a	A	b	B	
※ 考査項目で不必要な場合には、各項目ごとに比例配分する。(100 / 省略後の重要度計) × 省略後の評価点 = (小数点以下3位 4捨5入)				加減点(別表2・3) 十・一 点		(4)	
所 見	監督職員		検査職員		評 価 判 定 基 準		
					A 優 秀	100点～90点	
					B 良 好	89点～70点	
					C 普 通	69点～60点	
					D 稍 不 良	59点～51点	
				E 不 良	50点以下		

工事成績評価運用表（別表第2）

※当該工事が加減点事項に該当する場合のみ本表を作成すること。この場合、表中の加減点数を○「マル」で囲むこと。
土木、建築、電気、機械設備工事とも本表を使用すること。

考査項目	細目	監督職員	検査職員	(2) 評価項目ごとに下記事項に該当する事実があった場合 監督職員 / 検査職員
1 完成の状況	①出来形	A B C	A B C	<input type="checkbox"/> 契約書第17条および第31条第2項に基づく破壊検査を行った。 <div style="text-align: right;">- 10</div>
	②出来ばえ	A B C	A B C	
	③品質	A B C	A B C	
2 施工体制	①施工体制一般	A B C	/	<input type="checkbox"/> 監理技術者を要する工事において施工体制台帳および施工体系図が整備されていなかった。 <input type="checkbox"/> 入札前に申請した配置予定の技術者を正当な理由なしに配置しなかった。 <input type="checkbox"/> 建設業法に違反する一括下請けに該当する事実が判明した。 <div style="text-align: right;">いずれかに該当。 - 30</div>
	②配置技術者	A B C		<input type="checkbox"/> 監理技術者または主任技術者が専任でないことが判明した。 <input type="checkbox"/> 監理技術者としての「監理技術者資格者証」の交付を受けていないことが判明した。 <input type="checkbox"/> 現場代理人が工事現場に常駐していないため「文書」により改善指示を行ったが改善されなかった。 <div style="text-align: right;">いずれかに該当 - 30</div>
3 施工状況	①施工管理	A B C	A B C	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づく破壊検査を行った。 <input type="checkbox"/> 現場代理人、監理技術者または主任技術者および専門技術者について、工事の施工または管理につき著しく不相当と判断し、契約書第12条に基づき請負者に措置請求した。 <input type="checkbox"/> 請負者が工事を施工するために使用している下請負人、労働者等について、工事の施工または管理につき著しく不相当と判断し、契約書第12条に基づき請負者に措置請求した。 <div style="text-align: right;">いずれかに該当 - 10</div>
	②工程管理	A B C	/	<input type="checkbox"/> 請負者の責に帰すべき事由により工期内に工事を完成させることができなかった。 <div style="text-align: right;">- 30</div>
	③安全管理	A B C		<input type="checkbox"/> 安全管理の措置が不適切であったため、重大な工事関係者事故または公衆災害事故を起こした。 <div style="text-align: right;">- 30</div>
	④対外関係	A B C		<input type="checkbox"/> 請負者の責に帰すべき事由により工事を相当期間中断しなければならなかった。 <div style="text-align: right;">- 30</div>
(1) ① 当該細目の内A評価が監督職員8評価以上、検査職員3評価以上あり、C評価が無い場合 <div style="text-align: right;">+ 10点</div> ② 当該細目の内A評価が監督職員7評価以上、検査職員2評価以上あり、C評価が無い場合 <div style="text-align: right;">+ 8点</div> ③ 当該細目の内A評価が監督職員6評価以上、検査職員2評価以上あり、C評価が無い場合 <div style="text-align: right;">+ 5点</div> ④ 当該細目の内C評価が監督職員4評価以上、検査職員2評価以上の場合 <div style="text-align: right;">- 10点</div>				(3) 考査項目細目ごとに、同種同等工事に比べ、その過程および成果が特に優れていた。 （評価対象項目以外の高度技術、創意工夫、難易度） ※別表3 高度技術、創意工夫、難易度に関する実施状況および説明書を添付する。 ※1 評価内容2点とし10点を上限とする。 ○監督職員/検査職員 【加減点合計】 (1) + (2) + (3) = 点

工事成績評定運用表（別表第3）

高度技術・創意工夫・難易度等に関する実施状況

工 事 名		
項 目	評 価 内 容	備 考
1. <input type="checkbox"/> 高度技術 工事全体を通して 他の類似工事に比 べて、特異な技術 力	① <input type="checkbox"/> 施工規模	・対象構造物の高さ、延長、施工（断）面積、施工深度等
	② <input type="checkbox"/> 構造物固有	・複雑な形状の構造物 ・既設構造物の補強、特殊な撤去工事
	③ <input type="checkbox"/> 技術固有	・特殊な工種および工法 ・新工法（機器類を含む）および新材料の適用
	④ <input type="checkbox"/> 自然・地盤条件	・湧水、地下水の影響 ・軟弱地盤、支持地盤の状況 ・制約の厳しい工事用道路、作業スペース等 ・気象現象の影響
	⑤ <input type="checkbox"/> 周辺環境等・社会条 件	・埋設物等の地中内の作業障害物 ・供用中の道路・建築物の近接施工 ・騒音・振動・水質汚濁等環境対策 ・作業スペース制約・現道上の交通規制 ・廃棄物処理
	⑥ <input type="checkbox"/> 現場対応	・施工状況（条件）の変化への対応
	⑦ <input type="checkbox"/> その他	
2. <input type="checkbox"/> 創意工夫 高度技術で評価す るほどでない軽微 な工夫	① <input type="checkbox"/> 施工関係	・施工方法に関する技術提案 ・施工に伴う機械・器具・工具・装置類 ・二次製品、代替製品の利用 ・施工方法の工夫 ・施工環境の改善 ・仮設計画の工夫 ・施工管理・品質管理の工夫
	② <input type="checkbox"/> 品質管理	・品質管理の煩雑さ、複雑さ ・高い品質管理制度の要求
	③ <input type="checkbox"/> 安全衛生関係	・安全施設・仮設備の配慮 ・安全教育・講習会・パトロールの工夫 ・作業環境の改善
	④ <input type="checkbox"/> 施工管理関係	・工期・工程の制約・変更への対応 ・工法変更に対する対応
	⑤ <input type="checkbox"/> その他	
3. <input type="checkbox"/> 社会性 地域社会や住民に 対する貢献	① <input type="checkbox"/> 地域への貢献度等	・地域住民とのコミュニケーション ・ボランティアの実施
4. <input type="checkbox"/> 工事難易度 ・構造物条件 ・技術特性 ・自然条件 ・社会条件 ・マネジメント 特性	① <input type="checkbox"/> 施工規模	・対象構造物の高さ、延長、施工（断）面積、施工深度等の規模
	② <input type="checkbox"/> 形 状	・対象構造物の形状の複雑さ（土被り、厚さ、カーブ・線形上）
	③ <input type="checkbox"/> 工法等	・工法、使用機械、使用材料
	④ <input type="checkbox"/> その他	・施工方法に関する技術提案
	⑤ <input type="checkbox"/> 湧水・地下水	・湧水の発生、掘削作業等に対する地下水の影響等
	⑥ <input type="checkbox"/> 軟弱地盤	・支持地盤の状況
	⑦ <input type="checkbox"/> 作業用道路・ヤード	・急峻な地形条件下、工事用道路・作業スペース等の制約
	⑧ <input type="checkbox"/> 気象	・雨、雪、風、等の影響
	⑨ <input type="checkbox"/> 地中障害物	・地下埋設物等の地中内の作業障害物
	⑩ <input type="checkbox"/> 騒音・振動	・周辺住民に対する騒音・振動の配慮
	⑪ <input type="checkbox"/> 水質汚濁	・周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮
	⑫ <input type="checkbox"/> 現道作業	・現道上での交通規制を伴う作業
	⑬ <input type="checkbox"/> 他工区調整	・隣接工区との工程調整
	⑭ <input type="checkbox"/> 住民対応	・近隣住民との対応
	⑮ <input type="checkbox"/> 関係機関対応	・関係行政・公益事業との調整
	⑯ <input type="checkbox"/> 工程管理	・工期、工程、の制約・変更への対応（工程変更等に伴うもの）
	⑰ <input type="checkbox"/> 品質管理	・品質管理の煩雑さ、複雑さ（高い品質管理制度の要求等）
	⑱ <input type="checkbox"/> 安全管理	・高所作業、夜間作業、潜水作業等の危険作業
	⑲ <input type="checkbox"/> その他	・災害時の応急復旧等

*該当する項目の□レ マークを記入し、具体的内容の説明、写真等資料を整理して下さい。（別添提出書様式）

(別添提出書様式)

高度技術・創意工夫・難易度等に関する実施状況等説明書

工 事 名		請負業者名	
<p>(項目 、評価内容)</p> <p>○説 明</p>			
<p>工事成績評定細目評価点50点Cとした項目について具体的に内容を記入する。 監督職員 / 検査職員</p>			
1 完 成 の 状 況	①出 来 形 ②出 来 栄 え ③品 質		
2 施 工 体 制	①施 工 体 制 一 般 ②配 置 技 術 者		
3 施 工 状 況	①施 工 管 理 ②工 程 管 理 ③安 全 管 理 ④対 外 関 係		